

「手は離しても、心は離さず !!」

心身共に大きく成長する小学から中学時代。子どもから大人へ変容するこの時期は、人生の中で最も大切な時期の一つです。この時期の子どもたち（とくに小学校高学年～中学生）は、個人差もありますが、親の過度の干渉を嫌う傾向にあるようです。ちょうど、誰にも悟られず、サナギから成虫へ、こっそり変身する昆虫のように…。

子どもたちは自分の中で、大人の生き方や社会に関して理想像をつくろうとします。また、この時期、友人関係・学習面・自分の容姿・進路など多くの悩みを抱えています。そんなとき、毎日接している親には遠慮せず、口答えしたり、反抗したりする子どもがいます。短絡的で詳しい説明もしませんので、親は驚いたり、接し方に苦慮したりするようです。でも、見方を変えると、親から独立したい、自分で考えたいと自立の一步を踏み出しているともいえるのです。

この時期の子どもの接し方にこれといったよい方法はありません。また、個人差も大きいものがあります。よくいわれるのが、手は離しても心は離さないことです。大切なことは、親はこの時期の子どもの扱いが難しいからといって、見逃したり、後回しにしたりしないことです。先に記述したような小学校高学年～中学生の特性を理解した上で、「よく話を聞く」「ダメなものはだめとしかる」「粘り強く言い聞かせる」ことが大切なようです。実は、私にも、娘が2人おり、いろいろあったことを思い出します。



羽化したトンボ（プールを清掃したときいたヤゴを理科室で観察しています）

プール清掃 お世話になりました（6/5月）

毎年6月中旬から始まる水泳の授業を控え、プール清掃を行いました。プールの底や側面にはぬるぬるした水苔がしっかり生えていましたが、全児童生徒が棒ずり（たわし）でこすり、2時間後、きれいなプールに生まれ変わりました。

途中、ぬるぬるに足を取られてしまう児童生徒もいましたが、一生懸命作業をしていて起こったことであり、笑ったり、からかったりする児童生徒は一人もいませんでした。「大丈夫？」と声をかける児童生徒もいました。みんなで汗をかくことの楽しさを味わっていました。

プールの水を抜くと出てきたのが、トンボの幼虫「ヤゴ」です。数十匹はいました。この「ヤゴ」は、理科室で飼育することにしました。毎日数匹が成虫となっています。

今回のプール清掃には多くの保護者の方にも手伝っていただきました。プールサイドの草取り、水の運搬など、夏の強い日差しの中、やっていただきました。



全児童生徒で
プールをこすりました。



保護者の皆さん
ありがとうございました。

広島～宮島に修学旅行（5年生 2名参加）5/24水～26金

5年生2名の児童は大島小学校の5・6年生11名と一緒に、広島・宮島方面に合同修学旅行に行ってきました。2人はあらかじめ総合的な学習の時間を使い、『原爆』や『平和の大切さ』について学習しました。また平和を祈る折り鶴も、作成しました。

24日に見島を出発し、セミナーハウスで1泊後、25日朝に大島小と合流しました。広島では「原爆ドーム」や「平和記念資料館」を見学しました。また「平和の塔」では折り鶴を捧げ、平和をお祈りしました。ホテルに1泊し、26日は宮島に渡り、厳島神社に行きました。2人は2泊3日の旅行を通じて親睦をさらに深めました。大島小の子どもたちともバスの中やホテルで交流しました。



原爆ドームにて

～ 5年生2名に修学旅行の感想をインタビューしてみました ～

- 原爆が落ちたことにより、建物のほとんどがなくなってしまいました。そこには焼け野原が広がっていました。その光景の写真を資料館で見たとき、大きなショックを受けました。
- 宮島で始めて鹿とふれあいました。大島小のみんなとおみやげを買って、楽しかったです。
- 原爆が落ちた当時、広島は人口は35万人でした。その後、4ヶ月で14万人が亡くなりました。現在まで30万～40万の人が亡くなったと言われています。その数の多さに驚きました。
- 宮島で、みんなでおみやげを買いながら1時間ぐらい歩きました。いろいろなお店があり楽しかったです。

第31回見島ふるさとまつり参加 「共同一致」の歌と踊り 披露 5/28日

1ヶ月前から練習を始めた「共同一致」の歌と踊り。今年もふるさとまつりで全児童生徒により披露しました。昨年の全校児童生徒数20名から、12名と人数が減りましたが、昨年度に勝るとも劣らない声の大きさや振り付け、太鼓たたきで、会場に来られた方々に喜んでいただきました。なお、この「共同一致」の歌と踊りは、エフエム大阪主催の「小さな音楽会コンクール（全国の小規模小学校を対象にしたコンクール）」に動画エントリーしています。なお、コンクールの結果発表は6/23金となっています。



練習を繰り返しました。



本番です。

萩阿武中体連夏季大会（県選手権予選）卓球 6/10 土

全国大会に通じるこの大会が開かれました。中学生の6名全員、元気に出場しました。「初めての出場でやや緊張していた生徒」「練習の結果、サーブが決まるようになった生徒」「体調を崩してやっと回復した生徒」など、様々な状況での参加となりましたが、みんなよく頑張りました。今回の試合を振り返り、よいところと課題をしっかりと確認して、これからの練習に励んでほしいと思っています。



白熱した試合

きりとり

◎この学校だよりを読まれての感想等ございましたら、下記に書かれてお寄せください。

